

サツマイモの栽培上問題となる重要病害とその対策をテーマに  
銚田市農業三士交流会が開催されました

令和8年1月21日（水）に、銚田市長ご臨席のもと、サツマイモの重要病害や、近年県内で確認された新病害とその対策をテーマに、茨城県農業経営士協会鹿行支部銚田分会主催による、銚田市農業三士交流会が開催されました。農業三士（農業経営士（OB 含む）、女性農業士、青年農業士）、銚田市職員、JA 茨城旭村、JA ほこた、普及センター職員など計41名が参加しました。

始めに、東京大学大学院農学生命科学研究科植物医科学研究室渡邊健特任教授より、「サツマイモの栽培上問題となる重要病害とその対策」と題し、サツマイモ基腐病や立枯病、つる割病などの発生要因やその防除対策のポイントなどについてご講義いただきました。

参加者からは「生分解性マルチと慣行マルチでは土壤消毒効果に違いがあるのか」、「土壌中の病原菌の密度を測定することはできるのか」などの活発な質問が上がり、講師からは丁寧な回答が得られ、大変参考になった様子でした。

続いて、県農業総合センター専門技術指導員室の宮本専門技術指導員からは「近年の病害虫の発生状況とその対策、農薬の効率的な使い方」と題し、メロンの CABYV などの近年県内で確認された新病害やその対策のほか、農薬混用の利点や注意点などに関するお話をいただきました。

参加者からは、「銚田市は一年を通して何かしらの作物が栽培されている状況であっても、害虫被害を防ぐ方法を教えてほしい」、「薬剤耐性について、効果の低くなってしまった農薬はあるのか」など沢山の質問があり、薬剤防除への関心の高さが伺えました。

最後に、LED 捕虫器を取り扱うメーカー3社（みのる産業株式会社、株式会社モチヅキ、株式会社サカタのタネ）から、効果的な活用方法に関する情報提供をいただきました。

実際に機器を用いて説明していただいたので、多くの関心が寄せられ、閉会後も熱心にメーカーからの説明を受けている参加者もありました。

非常に参考になったとのお声を多数いただき、非常に有意義な研修会となりました。

普及センターでは、今後も、専門家等を通じて最新の情報を収集するとともに、研修会等を通じ、農業三士の経営発展に繋がるよう支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



講演の様子



LED 捕虫器の紹介の様子